

## 国道220号法面崩壊について（第3報）

平成24年6月22日 15:55 現在

## 1. 概要

6月22日10時45分頃、大隅河川国道事務所管内の国道220号垂水市牛根境付近(178k000㍍<sup>+</sup> ㍍付近)にて法面崩落による全面通行止を継続中。

応急復旧工事の実施にあたって、現在、小崩落が起こっており、2次災害のおそれがあるとの判断から、無人化施工機械（遠隔操作が可能な建設機械）3台を現地に向けて派遣。

防災ヘリコプター（はるかぜ）による上空からの調査を開始（15:46～）

## 2. 体制

九州地方整備局災害対策本部は、警戒体制 を発令。

○本部体制履歴

- ・ 6/22 10:45 警戒体制

## 3. 道路

## 【規制区間の状況】

- ・ 6/22 10:45頃、国道220号垂水市牛根境（178k000㍍<sup>+</sup> ㍍付近）において法面崩落による全面通行止を開始
- ・ 応急復旧工事の実施にあたって、現在、小崩落が起こっており、2次災害のおそれがあるとの判断から、無人化施工機械（遠隔操作が可能な建設機械）3台を現地に向けて派遣。  
（復旧工法については、現在実施中のヘリ調査結果をもとに検討予定）

## 【迂回路の状況】

- ・ 迂回路については、別添「迂回路図」参照

## 【その他】

- ・ TEC-DOCTOR（鹿児島大学 井村隆介 専門分野：防災地質）による現地調査を開始（13:15～）
- ・ 防災ヘリコプター（はるかぜ）による上空からの調査を開始（15:46～）

※TEC-DOCTORとは※

九州地方整備局が所管する管内の河川・道路・砂防等関係業務において、災害復旧等の技術的指導・助言を行う外部専門家（学識経験者）による『九州地方整備局緊急災害対策派遣ドクター（TEC-DOCTOR）制度』を創設。

※下線部は、今回更新情報

## 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部  
企画部 企画課長補佐 大波多 昌志  
電話:092-414-7301(本部直通)  
FAX:092-481-9210(本部直通)

